

保護者のみなさまへ

「人権教育学校自己診断票」の記入について

人権問題は、社会の意識が反映される問題です。そのため、学校で行われる人権教育は学校と地域、保護者が一体となって取り組んでいくことが必要ですし、常に検証、改善が必要です。

この「人権教育学校自己診断票」は、学校の取組状況を、「現状の把握」「学習の充実」「研修・体制の充実」「家庭や地域、校種間の連携」「教育の環境」の5つの分野別に、検証するために作成されました。

基本的には学校が自らの取組を検証するために、教職員用の自己診断を行います。それとともに、保護者のみなさまにも、質問をさせていただき、その結果を学校・教職員の認識と比較しながら、今後の学校の取組に十分反映させていきたいと考えています。

人権教育を学校、家庭、地域がともに作り上げていくためにも、保護者のみなさまに、次ページの設問にお答えいただくようお願いいたします。

設問は13問あり、それぞれ「A：そう思う、B：だいたいそう思う、C：あまりそう思わない、D：そう思わない」の4段階で評価して、○を付けていただくようになっています。なお、わからない場合は空欄にしておいてください。また、ご意見等を記入する欄も設けました。

回答は無記名で結構です。

保護者のみなさまへの質問

*それぞれの質問項目について、「A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない」の4段階で評価して、○を付けてください。なお、不明の場合は空欄にしておいてください。

1. 学校は、電話連絡や家庭訪問等で、家庭との意志疎通を積極的に行っています。
2. 子どものことについて、気軽に先生に相談できます。
3. 学校は、将来の生き方や進路について考えるための学習を行っています。
4. 学校は、社会ルールやマナーを守るための学習を行っています。
5. 学校は、生命や人権を大切にする学習を行っています。
6. 学校の授業は、わかりやすく、楽しいものが多いと思われます。
7. 学校は、人権教育に関する方針をわかりやすく伝えています。
8. 学校は、保護者が授業を参観する機会をよく設けています。
9. 学校は、保護者や地域の人たちと話をする機会を多く持っています。
10. P T A活動の中で、人権問題を考えるための研修会などが行われています。
11. 学校は、すべての教育活動において、子どもの人権を尊重する姿勢で指導にあたっています。
12. 学校の施設・設備は、すべての子どもたちが使いやすいように整備されています。
13. 学校の雰囲気良く、子どもたちが生き生きとしています。

●学校をよりよいものにするためにご意見がありましたら、お書きください。
